

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立北中小学校

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成28年4月19日（火）

3. 調査の対象

小学校第6学年、全児童

実施児童数（78人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答率は全国と比べてほぼ同じ状況であるが、平均正答数の全体的な分布状況は全国と比べて、上位層と下位層の差が大きい。 平均正答率（本校 71.5/泉佐野市 69.5/大阪府 71.3/全国 72.9）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にあるが、全国と比べて上位層が少なく、下位層がやや多く分布している。 平均正答率(本校 52.7/泉佐野市 52.4/大阪府 55.4/全国 57.8)

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>2, 全校集会で歌う歌を決めるために、どのように話し合っているのか、話し合いの説明として適切なものを選択する。</p> <p>○<話し合いの様子の一部>の内容の一部分で判断してしまい、全体の流れを理解することに課題がある。 (70.7/79.2)</p> <p>【書くこと】</p> <p>3, ルール説明の表現について助言した内容として適切なものを選択する。</p> <p>○書き直す前のルール説明が、長くて内容が伝わりにくい文だということを理解することに課題がある。 (57.3/67.4)</p> <p>【読むこと】</p> <p>5, 公園案内図とパンフレットにある表とを関係付けて読み、希望に合うものを選択する。</p> <p>○<公園案内図>と<パンフレットの一部分>と<グループの希望>の3つを関係づけて読み、適切なものを選択することに課題がある。 (88.0/93.1)</p>	<p>6, 『おばあさんの飛行機』を読んで、登場人物の人物像を説明するために、根拠となる表現として適切なものを選択する。</p> <p>○<大森さんの考え>から、おばあさんがどのような人物であるかを読み取ることに課題がある。さらに、正答である「ちょうちよがはいってきたことも、まるで気がつきません。」という表現が編み物の模様を工夫していることと結びつけることに課題がある。 (58.7/63.9)</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p> <p>○1-1から1-2までは正答率が全国と比べて上回っている。</p> <p>8-2, ローマ字を書く。(あさって)</p> <p>○つまる音を書くことに課題がある。 (34.7/41.8)</p> <p>8-1, ローマ字を書く。(りんご)</p> <p>◎ローマ字でりんごを書くことは、全国と比べて上回っている。 (58.7/53.2)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○目的に応じて、質問したいことを整理することに課題がある。</p> <p>1-1 スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを作成した際の工夫した点として当てはまらないものを選択する (40.0/51.8)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿った質問を書くことに課題がある。</p> <p>1-3 スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを基にして、話の展開に沿った質問を書く (44.0/50.4)</p>	<p>【読むこと】</p> <p>○目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むことに課題がある。</p> <p>3-1「パン職人」に関する本を選んだ目的の説明として適切なものを選択する (69.3/77.2)</p> <p>○目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫することに課題がある。</p> <p>3-2「パン職人」に関する複数の資料の内容を関係付けてまとめたものとして適切なものを選択する (68.0/77.9)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	44.2	58.3	○	14.1
国語の勉強は大切だと思いますか	89.7	91.3		1.6
国語の授業の内容はよく分かりますか	67.6	80.7	○	13.1
読書は好きですか	48.1	74.6	○	26.5
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	83.2	89.2	△	6.0
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	50.7	67.0	○	16.3
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	52.0	62.3	○	10.3
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	61.6	74.0	○	12.4
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	67.6	78.1	○	10.5
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで努力しましたか	94.8	95.6		0.8

【考察】

国語A

○【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】は、よくできていたが、【書くこと】【読むこと】は、苦手である。

○文章全体を読み、何を問われているかを読み取ることが苦手である。

○2つ以上の情報を関係付けて読み取ることが苦手である。

国語B

○【話すこと・聞くこと】は他の領域に比べてできているが、全国と比べると正答率は低い。

○【読むこと】は、苦手である。

○選択式の問題では無答率は低いが、記述式では高い。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数は全国と比較しても大きく変わらないが、正答数が9割、10割の上位層の児童数は全国と比べても下回っている。 平均正答率（本校 75.6/泉佐野市 75.0/大阪府 76.9/全国 77.6）

「B区分問題」

- ・平均正答数がA区分に対してB区分の低さが目立ち、上位層の児童数が少なく下位層が多く分布している。

平均正答率（本校 41.0/泉佐野市 44.0/大阪府 45.8/全国 47.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】 ○除数が1より大きいとき、小さいときに、商が被除数と比べてどのように変化するのかということが、全国を大きく下回っている。 1（1）$\square \div 0.8$の商の大きさについて正しいものを選ぶ。 (48.0/64.8)</p> <p>【図形】 ○図形の構成要素に着目して、図形を構成することに課題がある。 6、4枚の三角定規で作ることができる形を選ぶ。 (66.7/79.6)</p>	<p>【数量関係】 ○示された場面を適切に適切に読み取り、答えを求める式に表すことに課題がある。 9（1）前に10人、後ろに19人並んでいることをもとに、列に並んでいる全体の人数をもとめる式と答えを書く。 (65.3/80.2)</p> <p>○1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係の理解に課題がある。 9（2）定員と乗っている人数の割合を、百分率を用いた図に表すとき、当てはまる数値の組み合わせを書く。 (42.7/50.9)</p>

算数B	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】 ○加法と乗法の混ざった式を正しく計算することに課題がある。 2（2）ハードル走の目標のタイムを求める式に決められた数を当てはめて、目標のタイムを求める式と答えを書く。 (32.0/50.5)</p> <p>○長方形の面積を求める公式を応用して、説明文を最後まで書くことに課題がある。 3（2）縦39cm、横54cmの長方形の厚紙から、1辺9cmの正方形を24個切り取ることができるわけを書く。 (29.3/38.4)</p> <p>【量と測定】 ○示された説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、その説明を記述することに課題がある。</p>	<p>1（2）正方形の縦の長さを2cm短くし、横の長さを2cm長くすると面積が4cm²小さくなることの説明を書く。 (26.7/45.2)</p> <p>【図形】 ○正方形に内接する円をかくために、円の性質を基にして、円をかく方法について考えることに課題がある。 3（3）一辺が9cmの正方形に内接する円をかくために、コンパスの鉛筆の先を合わせる位置を選ぶ。 (68.0/76.5)</p> <p>【数量関係】 ○示された事柄について、二つの表を基に読み取ることができない事柄を特定することは概ねできていない。 4（2）示された二つの表だけでは判断できないものを選ぶ。 (73.3/70.7)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	49.4	66.0	○	16.6
算数の勉強は大切だと思いますか	89.6	91.9		2.3
算数の授業の内容はよく分かりますか	61.6	80.2	○	18.6
算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか	74.0	75.8		1.8
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	68.9	81.0	○	12.1
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	45.5	67.4	○	21.9
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	87.0	89.9		2.9
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	70.2	80.5	○	10.3
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	72.5	80.8	△	8.3
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	72.8	84.8	○	12.0

【考察】

算数A

○少数の除法の計算の大小関係を理解することに課題がある。

○いくつかの平面図形を組み合わせて、別の図形を作成することに課題がある。

○百分率を理解し、日常生活と関連づけて利用することに課題がある。

○整数の大小関係を判断し不等号で表す問題では100%の正答率となり高い理解力を示した。

算数B

○四則計算における計算のきまりについて確実な定着を図るために、単元での取り扱いが終わった後も持続的に復習を積み重ねることが大切である。

○示された説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、その説明を記述することに課題がある。単元の終わりなどに、学んだ内容を応用した記述式の問題に取り組み、問題に慣れさせるとともに、思考力を養う必要がある。

○作図をする際に用いられる円の性質を問題場面に適用できていない。「なぜそのような方法で作図することができるのか。」と、その操作の意味について考えることで、図形の約束や性質について理解を深めることが大切である。

○日常生活に関連した問題場面について、表から必要な情報を読み取る力は全国平均を上回っている。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。(例えば、1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない)

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して大きく差のあるものや、特徴的な項目を列挙した。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【自分自身について】	・自尊心が低く、自分に長所があるという意識がとても低い。	○自分には、よいところがあると思いますか <50.7/76.3>
【家庭生活の様子】	・家の手伝いをしている児童が少ない。 ・就寝時間が定まっていない児童が多い。 ・テレビゲームをする時間が、かなり長い。	○家の手伝いをしていますか <67.6/82.8> ○普段（月～金曜日）、何時ごろに寝ますか（10時より前） <26.0/49.6> ○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか（3時間以上） <35.1/16.0>
【家庭学習の様子】	・自分で計画を立てての家庭学習ができていない児童が多い。 ・予習、復習ができていない児童が多い。 ・地域のボランティアに参加している児童が多い。	○家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか <37.7/62.2> ○家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか <41.6/64.6> ○地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか <76.6/60.7>
【学校での学習の様子】	・教科の学習が、好きではない児童が多い。 ・読書が好きではない児童が多い。 ・自分の考えを説明したり、文章に書くことを難しいと思っている児童が多い。 ・最後まで回答を書こうと努力した児童が多い。	○国語の学習は好きですか <44.2/ 58.3> ○算数の学習は好きですか <49.4/ 66.6> ○読書は好きですか <48.1/ 74.6> ○自分の考えを説明したり文章に書いたりすることは難しいと思いますか <70.2/ 54.8> ○総合の学習の時間で、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの活動に取り組んでいますか <86.4/ 65.4> ○5年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立ててその解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表する等の学習活動に取り組んでいたと思いますか <50.7/ 75.7> ○わけや求め方などを書く算数の問題を最後まで回答を書こうと努力した <72.7/ 72.0>

本校の取組み

◎これまでの取組み

【自ら考え共に学び合う体験的な活動（授業）を通して、コミュニケーション豊かにつながる子どもの育成を目指すための取組み】

（１）言語活動・コミュニケーション活動の充実

- ① 国語科をはじめ、全ての授業で「聴く」「表現する」活動を工夫し、相手の思いや考えを能動的に理解しようとする、自分の思いや考えをわかりやすく伝えようとする態度を育む。
 - ・読み聴かせ活動 ・聴き方「あいうえお」 ・ペア学習及びグループワーク
 - ・話し方「かきくけこ」 ・伝わりやすい書き方ワーク ・プレゼンテーション 等
- ② 人と関わる楽しさを感じることや、他者との出会いを積極的に取り入れる。
 - ・交流活動 ・人と関わる体験的な学び ・まなびんぐスクール 等

（２）体験的な学びを通して、信頼感や安心感であふれる集団づくり

- ① 目標に向かって集団活動を企画・運営する。
 - ・共有できるルールづくり ・チームとしての活動づくり 等
- ② 自分を振り返る機会を習慣づける。
 - ・振り返りジャーナルや日記 等
- ③ 本音を語り合え、心情を共有する関係づくり。
 - ・相互に伝え合い聴き合うオープンクエスチョンワーク 等

（３）自力解決の力を育てる生活や授業での学び

- ① 自己選択と自己決定を積み重ねるしかけを組み込む。
- ② 基礎基本の習熟を図ると共に、活用力を高める。
- ③ トラブルの解決のために、全学年がセカンドステップに取り組む。

【基礎基本の定着のための取組み】

- （１）学力向上の一環として、基礎・基本の習熟と活用能力を高めることを目標に、習熟度別指導を中心に取り組む。
- （２）朝学習を充実させ、漢字や計算の力をつける。
- （３）研究授業や校内研修を計画的に行い、積極的な意見交換により個々の授業力向上を目指す。

◎これからの取組み

【基礎基本の定着】

- （１）力だめしプリント等を有効活用し、読み書き計算の習得に力を入れる。
- （２）反復学習による基礎基本の習熟に力を入れる。
- （３）図書室を整備し、読書活動を充実させていく。
- （４）パソコンやICT機器を使用した授業を充実させていく。

【授業改善による授業内容の向上】

- （１）授業力向上のため、研究部を中心として授業改善に取り組む。
- （２）研究授業及び研究討議の内容を充実させ、授業力の向上を目指す。
- （３）少人数・習熟度別学習を効果的に利用し学力アップにつなげていく。

【家庭との連携】

- （１）朝食の重要性、テレビ・ゲームの悪影響を訴え、家庭との連携を深める。
- （２）北中ばっちりウィークを活用し、家庭での学習状況を充実させる。
- （３）学校だより・学年だより・学校ホームページ等を通じて積極的な情報発信に努める。

【落ち着いた学習環境】

- （１）セカンドステップの取組みを続け、感情のコントロールを身につけさせる。
- （２）ふわふわ言葉の取組みを続け、あたたかく落ち着いた学習環境を構築する。
- （３）教室の掲示物等はユニバーサルデザインを意識し、環境を整える。
- （４）スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを活用し、心のケアに努める。